

補助事業番号：25-1-014

補助事業名：平成25年度自転車競技の普及促進

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

自転車競技のさらなる普及拡大のために、直接的な競技大会実施や強化事業のみならず、諸般の普及活動を行い、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

#### ① 指導者ならびに審判員の養成・資格付与、各地における講習会等の開催、その他広報活動によって、自転車競技の普及振興を図る事業

当連盟では、自転車競技に関する様々な広報的活動を行っている。これらの活動は、単に自転車競技そのものの普及振興を図るのではなく、「健全な」自転車競技の普及振興を図るものである。

すなわち、広報的活動による情報発信は、正しいルールに則った、健全なスポーツとしての自転車競技を広めるものである。ドーピング検査や指導者・審判員の講習・資格付与等の活動が本事業に含まれるのは、ルール遵守の意識を浸透させることも含めた広報的活動の側面を有しているためである。本事業における活動は以下のとおりである。

#### ア. 審判員の講習会の実施及び公認審判員の資格付与

当連盟では、公認審判員の資格を有する者については国内の主要な競技会における審判として参加することができる。日本各地で講習会や資格付与のための検定を行っている。

第1級公認審判員（トラック&ロード）講習会の受講料は5,000円。2級及び3級の講習会は加盟団体が実施する。

平成25年度における第1級公認審判員（トラック&ロード）の資格取得者数は4名、2級15名、3級358名。

#### イ. 自転車競技の普及・広報事業

##### (i) 公式ウェブサイト（ホームページ）における自転車競技各種情報の提供

競技大会の日程や参加要綱、結果の公開のほか、当連盟の沿革や概要、競技規則の公開など様々な情報発信をホームページ上で適宜行っている。

開催要綱や募集要項を掲載することにより広く参加機会を周知し、また、各競技大会の速報、競技状況を可能な限り速やかに掲載することにより、閲覧者における関心を高め、もって登録競技者拡大に努めている。

また、競技規則についてもUCIにおいて変更があった場合には、随時、変更内容を反映した競技規則を掲載し、健全なスポーツとしての情報発信の中心を担う役割を果たしている。

(ii) 登録者管理システムの運用

自転車競技の参加者に、安全管理や規則遵守の意識が求められるため、競技者のレベルに応じた内容で競技者登録をさせることによって、健全な自転車競技の普及振興を図る。また、登録者の増加それ自体が、自転車競技の裾野を広げ、普及振興に資する面も併せ持っている。

登録者管理システムにより、競技者登録を簡便化することにより、各競技大会への出場機会を容易にし、もって競技者登録の増加を図っている。

※ 登録者数の推移

平成 21 年度 : 5,829 人

平成 22 年度 : 6,059 人

平成 23 年度 : 6,321 人

平成 24 年度 : 6,517 人

平成 25 年度 : 6,510 人

ウ. 広報誌の発行

広報誌「シクリズム・エコー」を定期的（年 6 回）に発行し、一般に頒布している。

発行部数 : 4,000 部

発行日 : 4 月 17 日、200 号 (4・5 月号)

6 月 26 日、201 号 (6・7 月号)

9 月 17 日、202 号 (8・9 月号)

11 月 11 日、203 号 (10.11 月号)

12 月 19 日、204 号 (12.1 月号)

3 月 20 日、205 号 (2.3 月号)

主な配布先 JCF 維持会員・個別郵送希望者等 : 150 部

JCF 加盟団体・大会イベント等 : 3,250 部

自転車関係団体・施設・報道等 : 600 部

エ. 広報（宣伝、現地報道対応）の実施

平成 25 年度は全日本選手権の中でもトラックとロードについて、ウェブサイト上に特設ページ（トラック ロード）を設けて、より一層の情報発信に努めた。

また、各競技大会への取材要望に応え、広く報道してもらい、もってより多くの国民（受益者）が自転車競技のみならず、自転車に関わるルール・マナーを認識することにより、広義での自転車競技の普及振興を図っている。

オ. アンチ・ドーピング活動の実施

自転車競技会においてドーピング検査を実施し、参加者だけでなく自転車競技に携わる者の全てにアンチ・ドーピングの意識を広める活動。

また、このほかにも、広報活動の一環としてアンチ・ドーピング活動を行っている。

平成 25 年度にドーピング検査を実施した大会は以下のとおり。

- ・ 5/19-26 第17回ツアー・オブ・ジャパン（堺／美濃／南信州／富士山／伊豆／東京）
- ・ 5/19 MTB 八幡浜国際クロスカントリーレース（愛媛／八幡浜）
- ・ 5/20 第60回全日本プロ選手権自転車競技大会トラックレース（大阪／岸和田）
- ・ 5/30-6/2 TOUR de 熊野 2013（和歌山／熊野）
- ・ 6/9 第17回全日本選手権個人タイム・トライアル（秋田／大湯）
- ・ 6/9-10 第29回全日本学生選手権個人ロードレース大会（長野／木祖村）
- ・ 6/22-23 第82回全日本自転車競技選手権大会ロードレース（大分／大分・豊後大野）
- ・ 6/29-6/30 第53回全日本学生選手権トラック自転車競技大会（静岡／伊豆ペロドローム）
- ・ 7/6-7 第30回全日本 BMX 選手権大会（静岡／日本 CSC）
- ・ 7/20-21 第26回全日本 MTB 選手権大会（静岡／日本 CSC）
- ・ 7/27-28 第82回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース（静岡／伊豆ペロドローム）
- ・ 8/17-18 2013 オムニアム選手権大会（静岡／伊豆ペロドローム）
- ・ 8/29-9/1 第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（青森／八戸・階上）
- ・ 9/14-16 ツール・ド・北海道 2013（道北～道央）
- ・ 9/22 第47回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ（群馬／群馬 CSC）
- ・ 9/22 第2回 JBCF 女子ロードチャンピオンシップ（群馬／群馬 CSC）
- ・ 10/20 2013 ジャパンカップサイクルロードレース（栃木／宇都宮）
- ・ 11/10 ツール・ド・おきなわ 2013（沖縄／北部地域）
- ・ 11/16-17 信州シクロクロス野辺山高原ラウンド1、2（長野／南佐久）
- ・ 11/17 第44回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ（静岡／伊豆ペロドローム）
- ・ 11/17 2013 伊豆 BMX 国際（静岡／日本 CSC）
- ・ 11/24 関西シクロクロス野洲ラウンド（滋賀／野洲）
- ・ 12/8 第19回全日本シクロクロス選手権大会（滋賀／マキノ高原）
- ・ 12/14-15 第44回全日本室内自転車競技選手権大会（大阪／ボディメーカーコロシウム）
- ・ 1/24-26 ジャパントラックカップ1、2（静岡／伊豆ペロドローム）

※ JADA アウトリーチプログラム（8月17日、18日）

## 2. 予想される事業実施効果

全国自転車競技指導担当者研修会・審判員講習会の開催については、自転車競技の向上において、競技力及び審判技術の向上は欠かせないため、最新の情報収集を行う。

また、チャレンジサイクルロードレース等の大会においては、広い世代に競技の楽しさをアピールし、競技の普及と登録者拡大を目指す。

広報関係では一般の方やファン層に向けた宣伝や観客動員を意識しPR対策、メディアに対しても広報活動を実施していく。

これにより、今後も自転車競技の普及振興に寄与していく。

## 3. 本事業により作成した印刷物

- ・ シクリズム・エコー

#### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人日本自転車競技連盟

(コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ)

住 所 : 141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

代 表 者 名 : 会長 石崎聖子 (イシザキセイコ)

担 当 部 署 : 総務部

担 当 者 名 : 総務部長 菊田 聡

電 話 番 号 : 03-6277-2690

F A X 番 号 : 03-6277-2691

U R L : <http://jcf.or.jp/>